向陽新聞
高知市塩屋崎町1の2
土佐中・高校新聞部
編集人　田田信広壮志
発行人　植門東晴志
印刷　中岸上広
印刷　知高印刷

写真
TEL ②6758
大丸東入口前
高橋

（校舎新築問題）
年内に詳細発表か
校長と一問一答
五十周年をメドに落成

○…　バラックの寿命は二十年といわれる。十五年前に新校舎と呼ばれ…○
○…た本校校舎もすでに老朽化し、あと五年もすれば老朽校舎として、…○
○…危険指定されるのではないかとの声さえ聞かれ出した。校長先生は…○
○…この問題を解決される為就任当時から八方手を尽されていたが、具…○
○…体的な策が出ないままに現在にいたり、一部では〝校舎新築はむつ…○
○…かしいのではないか〟との声も聞かれ、同窓会その他でも校舎新築…○
○…の声が高まってきた。そこで校長先生に新築によせるヴィジョンを…○
○…お聞きして見た。以下は校長先生との一問一答である。　…○

問　校舎は新築されるのですか
答　新築する
問　いつ頃になりますか
答　開校五十周年をメドとしている
問　新築するとすれば移転ということになりますか
答　まずそうなるだろう
問　現在の場所だとどういう点が問題になるのですか
答　第一に敷地が狭いということだ。それに地盤が軟弱だから無理して建て直すとしても基盤経費がかかりすぎる
問　土地が狭いとのことですが、どの位狭いのですか
答　高校設置基準では、建物に五千坪必要となっている。専門家にいわせても本校の場合、高校と中学が一緒なのでどうしても四千坪はいるということだが、現在二千五百坪しかない。グラウンドの方も高校で九千七百坪、中学で三千六百坪必要だが、本校は旧グラウンドが二千四百坪、新グランドも六千坪しかない
問　その他の理由としては
答　環境の問題だ。空気の汚染、騒音、周囲の交通量等・それに町の周囲もあまり望ましくない（不良の出没など）
問　移転先にはどんな場所をお考えですか
答　北側に小高い丘があってそこに南向きの校舎が建てられるように、南側はグラウンドとなるような所だ
問　そうなると高知市からは出でしょうね
答　おそらく出るだろう
問　建てるのに費用はどのくらいかかるのですか
答　建物に二億、土地に四億、まず六億は越えるだろう
問　今、貯えはどの位ありますか
答　今はやっと借金を返しかかった所なので貯えといっても億には程遠い
問　現在の土地を売り払うとするといくら位になりますか
答　専門的なことはわからないが二億ぐらいにはなるだろう
問　国や県からの援助は全くないといってよい
答　足りない金はどうしますか
答　建てた後でコツコツ返していくようにする
問　具体的な計画はいつごろ立ちますか
答　年内には立てるつもりだ
問　その時は生徒や父兄にも発表できますか
答　勿論だ
問　生徒間には校舎は現在のままでよいという意見がかなりありますが
答　新築しても自分たちはどうせ入れないから、という考えからだろうが、後輩の為という大きな気持ちを持ってほしい

予算会終わる
問題になったコーチ料
ユニフォーム
議決方法で一時紛糾

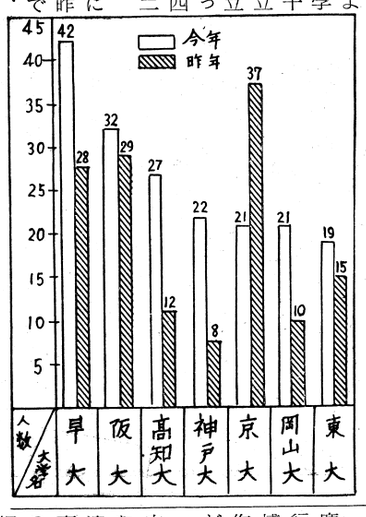
二月二十七日、昭和四十一年度予算会の全日程を終えた。
今回の予算決定に先立つ小委員会で問題になったのは「運動部のコーチ料、および他の部の参考書などをどう扱うか」という事であった。「小委員会としては、コーチ料は一応補助の形でこれを認め参考書などについては、コーチの来ていない部で、どうしても必要なものに限り認める。」という方針で小委員会案を決定した。
予算会の議決方法は従来と異なり、まず小委員会案への修正案を求めて、無い場合にはそのまま小委員会案を承認。修正案がある時には出席議員の三分二の賛成により決定し、否決の場合には小委員会案が承認されたとみなす、という方式をとった。
ところが予算会二日目になって西内議長が欠席し、議長が交代した後議決方法が変わったために予算会が紛糾する場面も見られた。だが四日目に西内議長が現れ、採決方法をもとにもどしてようやく予算会は軌道に乗った。（なお三日目に違う採決方法で審議された応援部などは最終日にあらためて審議された）そして登山部を最後に予算会は幕を閉じた。
予算会二日目には某運動部が議場に多数乗り込んでヤジを飛ばし議事進行を妨害するなど見苦しい場面もあったが、四日目からの予算会場は笑いにあふれていた。書道部の修正案提出の時には「筆は魂だ。」の名言が飛び出して満場を湧かせ、生物部のえさ代要求に対する議員の「ねずみのえさは何ですか？」という質問に議員一同腹をかかえて笑い出すなど、和気あいあいのうちに議事は進行していった。
これで今年の予算会は終わったが、まだ「コーチ料」「ユニフォーム」などの問題がくすぶっており、来年度予算会の扱いが注目されている。また、今年の傾向を見ても、文化部はほとんど減されており、問題の一つとなっている。

主張
生徒会活発化のために
執行部よ悪役に！
議員にテスト制を！

最近の生徒会活動は、さっぱり冴えない。原因はいくつかあるだろうが、その中の一つに全校生徒が生徒会活動に無関心になっていることがあげられる。その対策としても、いろいろあるだろうがここでは次期執行部へ生徒の生徒会活動無関心をバックに、いかに活動してゆくべきかの注文をつけよう。それは「注目をひけ！」ということになるだろう。別の言葉で言えば「悪名になれ！」ということである。この具体例をあげるとまずここ数期の執行部でくすぶり続けているホームルーム運営委員会。これなどは議会に運営委員会設置を提案せずに直接各ホームのH・R運営委員を招集し、話し合いの場をつくればよく、招集に応じないホームがあれば学校側と相談し、そのホームに限り運動場、音楽室、生物室、屋上などの使用権をいっさい与えないようにするとか、又今問題となっている自転車問題なども、執行部がきびしく規制し、その規制に従わない者を一人でも見つけらたばそのホームの自転車通学者全員に対して自転車置場を、いっさい与えないとか、ありとあらゆる職権を使って職権濫用する位にやらなければならない。そうすればこれらのことに生徒が反感を持ちはじめるだろう。そうなれば生徒会活動が活発になることは火を見るよりあきらかであろう。
是非次期の執行部に良い意味での悪役になってほしい。
この度やっと総額百八十五万二千円の来年度予算が決定した。この予算会たるものや近年にないすさまじいものだった。このすさまじいという意味は近頃の国会の議決風景のような乱闘騒ぎのすさまじいという意味でなく、荒涼たるすさまじさである。何故荒涼なのか、先ずはこんな状景を頭の中に思い浮かべてほしい。ちょっと極端ではあるが、予算会第三日目を例にとると、議員は皆生徒手帳を広げ、又議長（正議長は欠席していた）は議決をするごとに生徒手帳を広げる。思っただけでもコッケイではないか。でも、これは笑えないコッケイさである。ホームの代表である生徒議員達でさえ、こんな状態である。まして一般生徒となると……。まったく身の毛がよだつ思いである。最近の生徒会不活発の原因もここらへんからでているのではないだろうか。土佐校の校則も知らないような生徒は、果して土佐校の生徒といえるだろうか。
しかし、現在の状態では校則を知っている人達といえば、生徒会の一ヌシと呼ばれるごく一部の人達だけであるようにに提案する。
ここで一つ生徒会活動を活発にするため、及び土佐校生であるという自覚を再認識させるために、土佐校校則及び生徒心得のテストを生徒全員に行ない、単位がない者はドシドシ退学処分にすることを提案したいが、学校側は実施しそうにないから、せめて執行部と議長団が生徒議員だけにでも筆記テストを行ない、単位がない議員達に議長団が講習会を開いて単位がとれるまで講習会通いをさせるように提案する。
このテストにおいて、生徒会活動が活発になり、土佐校生としての自覚が高まることを希望してやまない。

40年度進学志望大学状況
早大42名がトップ

二月十五日の卒業式も無事終えいよいよ受験シーズンも大詰めとなった。例年どおり、四十年度の本校の進学志望大学状況が指導部によりまとめられた。
それによると、進学志望者は三百五十四名中三百五十三名となっている。そのうち国立の志望者数は二百四十二名、公立は十七名、私立は九十二名となっており、昨年に比べて国立は約四・六%増加し、公・私立は一一二%減少している。
次に進学志望者を志望大学別に見てみると（別表参照）早大が昨年より十五名増加して四十二名でトップ、次いで十名の差を持ち、阪大の三十二名、高知大の二十七名、神戸大の二十二名、京大・岡山大の二十一名そして東大の十九名となっている。ここで見のがせないのは上位七校のうちで唯一の減少（十六名）を示した京大の二十一名である。なお、東大に続いては広島大の十七名、慶応の十六名となっている。
次に系統別に見てみよう。ここ二年間程は理工科系・文科系別人員はほぼ同数であったが、今年は理工科系百五十六名、文科系百八十名と文科系の方に傾きぎみである。理工科系ではトップが医学部の六十四名、次いで工学部の五十二名、理学部の二十五名。又、文科系では経済学部の五十五名がトップ、次いで文学部の四十三名、法学部の二十九名、文理学部・商学部の十五名となっている。
近年盛んに「狭き門」のことばが耳にされるようになったが、今年はそのうえベビーブームの最初におしよせる年。又、入学金・授業料の値上げ問題と受験生の悩みは絶えない。



山岸先生談

今年は進学者急増の年でどの大学も予想以上の競争率を示している。本校も進学志望者が大多数であるが、人数に負けることなく平素の力を十二分に発揮して目的を達するように祈っている。

会長に山口君（二T）
荒れた総会に非難の声も

一月二十九日放課後、四十一年度第一期高校生徒会の役員選挙が行なわれ、その結果会長には山口博資君（二T）副会長には和田耕作君（一H）と西森誠君（一K）が選出された。
今回の選挙における高二聴衆の中からは、今までの選挙にみられなかった野次や罵声がとばされ、演説が妨害される場面もあった。高一の中には、「山口候補の演説の内容は他候補を無視しており、掲げたモットーも、冗談とはいえ、ひどすぎる。」との声が強く、高二の態度を非難する投書なども殺到した。しかし、山口君は、生徒会活動の経験も豊富であり、人望もあつい。
今後、山口君が生徒会長として、どれほどの活躍をするか、注目されている。

山口会長談

よい意味での野心をもって、生徒会活動にあたりたい。選出されたからには、責任をもって、最後までやる。目的達成のため、全生徒の協力を願う。

右から和田副会長（一H）、山口会長（二T）、西森副会長（一K）

会長と一問一答

○…「土佐校生の感覚は麻痺してしまったんだろうか。」とNの指さすほうをみると、廊下のすみにパンの空袋が二つころがっている。狭い廊下だ。この大きなチリはみんなの眼に入るであろう。しかし拾おうとする者は誰もいない。もちろん、そういったNでさえも…。
○…床の上にチリ。これは昼食後であれば、どのクラスでもパンの空袋や牛乳ビンのフタが散在しているのがみられる現象だと思う。
○…有名校と呼ばれる高校や大学の狭い門に入るのに、社会では受験地獄だとか、入試地獄だとかいって、このようなことは早急に改善されなければならないと、多くの問題点を掲げて騒いでいる。しかし世の受験生は、このようなことに疑問や反発を感じていても表面では無頓着を装おい、ただひたすらに勉強に専念するように進んでいかなくてはならない。
○…土佐校は個人の「自主性」を尊重してくれる学校だと先輩や友達が言うのをよく耳にする。僕達はこの「自主性を尊重してくれる」という言葉の上に、平然とあぐらをかいてはいけないはずだ。僕達の行動に対しては常に責任の持てる態度でなくてはならない。そのためには、主体性――実践の場面でのあらゆる行動について「僕が」それをやったのだという主体性の自覚が必要だと思う。誰かが拾うだろうとか、誰かが始末するだろうという他力本願であってはならないはずだ。各人の主体性によって、学校を美しくしよう、きれいにしようという意欲をもっていなければ…。僕達は自己のいかんによって、発展もできるし、また退化もできるものなのです。向上への意欲をもとうではありませんか。そして、落ちているチリを拾う前にそのチリをオトサナイヨウニしようではありませんか。
（H・N）

ひとこと
捨てないように

○…良い環境であれば、良い方向に、悪い環境であれば、悪いほうに、というように、このようなことはいつまでたっても改善されないであろう。
○…「僕が」いる。しかし、僕達は環境が悪いからといって、それに染まっていってはいけない。良い環境にするように進んでいかなくてはならない。
○…土佐校は個人の「自主性」を尊重してくれる学校だと先輩や友達が言うのをよく耳にする。僕達はこの「自主性を尊重してくれる」という言葉の上に、平然とあぐらをかいてはいけないはずだ。僕達の行動に対しては常に責任の持てる態度でなくてはならない。そのためには、主体性――実践の場面でのあらゆる行動について「僕が」それをやったのだという主体性の自覚が必要だと思う。誰かが拾うだろうとか、誰かが始末するだろうという他力本願であってはならないはずだ。各人の主体性によって、学校を美しくしよう、きれいにしようという意欲をもっていなければ…。僕達は自己のいかんによって、発展もできるし、また退化もできるものなのです。向上への意欲をもとうではありませんか。そして、落ちているチリを拾う前にそのチリをオトサナイヨウニしようではありませんか。
（H・N）

猛練習に励む野球部

籠尾監督談

選手の基礎体力も養成したし、他のチームに比べて見劣りはしないと思っています。甲子園では実力を発揮し、精神的な力を軸に思う存分活躍してきます。

甲子園へ五度目の出場
練習に励む野球部

三月二十六日より甲子園で開かれる、第三十八回選抜高校野球大会に本校野球部が、高知県代表として、高知高校と共に出場することになった。
これは去る一月三十一日に、大阪の毎日新聞社本社で行われた選考会で決定したもので、四国大会、県大会と準優勝した成績が認められたもの。
本校の甲子園出場は今回で五度目、一昨年の春の大会で活躍しているだけに本校ではもちろん、多くく県民の期待をも集めている。
籠尾監督は、「特別に甲子園を意識しているわけではない。」といわれるが、連日七時頃までのこもった練習が続いている。

竹下主将談

とてもうれしい。高校野球にとって甲子園へ行けるということは最高のことですから、この経験をいかせるような試合をしたいと思ってます。

ウラがき

▼どうも、最近全般的に〝ふざけ〟に走っているように思えてならぬ。はかない笑いに興じて止まることを知らず、真実を見すごしているような感じである▼いい例が本校における正、副会長の選挙、このあいだのなんかひどいもの。演説でゴマすってみたり、怒鳴ってみたり、議長の呼び出しに応じないで立候補者をユデダコにさせたり…。はては禁酒禁煙をモットーとする方まで出ていらっしゃったり…。何も今から渋い大人の真似をしなくても、学生はもっと覇気にいった方が…よろしくはないか▼あんなのは全部、前もって仕組まれた選挙用の芝居であったという。ただの〝漫才〟としては充分に面白かったが、こんなので第一席の人が、本校の代表者たる会長さんだなんて…。〝選挙〟というものを一体どう考えているのか。▼確かに、たった一回の立会演説会で真面目くさって長弁舌を振う人には意地でも票を入れたくなくなる。〝早う帰ったら、テレビ名画劇場でも見れるのに…実に腹立たしい。〟しかし、こういう気持で、思い切り笑えた演説をぶった人に票を投じていたものか。さあ、今度の執行部には無理して〝漫才〟を聞かなくてもいいように、立候補者の心からの声を聞ける場を作ってもらいましょう▲ところで中学の方は見事に立ち直り始めたようである。このあいだは、先輩の築いてくれた〝ふざけの総会〟を脱皮して真面目な選挙をしたという。よシやったり〝高校は先を越された感じがせんでもない▼「親しき仲にも礼儀あり」という言葉がある。年長者にはいうまでもなく同年、年下の者までにも、きまるところでは〝礼〟をもって接するべきである。人と人とが平等になった今日にこそその言葉の真価が発せらるべきであろう。きまるところはきまって真面目に行くのが我々学生のいいところ▼ともかく、今年度も、もう終わり。甲子園が待っている。父上、母上のスネの細くなりたるを案じつつ、弾む若人の球宴にいざゆかん。銀さんは招くよ。野球部の活躍を期待してペンを置く前に一言、選挙もフェアなプレーでやれないものかしら――
（M・Y）

〝土佐名産〟
特製〝金波〟
立石蒲鉾店
高知市京町4
大丸東側　TEL ②6279

土佐塾もこの春創立七周年を迎えます！
母校へ既に４００名、５人に１人は土佐塾出身です！
みなさまのお蔭です、本当に有難うございました。しかしながら私学の前途は楽観を許しません。
今こそ総力を結集して母校の発展を計りましょう。少しでもお役に立てばと願っています。
小４～高１・中浪各クラス 塾生募集中
優秀な後輩をお世話下さい／土佐中生の補習教育にも御利用下さい／
最高の合格率　最大の合格数
塾長　福島清三（29回早大法卒）　教頭　中原章夫（広島高師卒）　進学主任　武中正雄（30回早大政経卒）
土佐塾
高知市宝永町67　電停北100㍍電③0729

皆様のお帽子の店
土佐中高指定
元田帽子店
高知市帯屋町2丁目南側
TEL ② 2591

制服
入交　学服
中ノ橋電停前
TEL② 1776 2744

紳士服装専門店
お誂紳士服
高級既製服
レジャースポーツ
≪土佐高制服、オーバー≫
廣松屋
大丸北口前　TEL ②2338

高校に劣らぬ活躍
原動力は人の和
立ち直った中学執行部

ここ二、三年全くの不振、停滞が叫ばれていた中学生徒会執行部（中央委員会）が今や完全に立ち直り、高校執行部に劣らぬ意欲的な動きを見せ始めている。

彼等の今、手がけている問題は自転車置場の混雑緩和（高校とタイアップ）校内美化、規約改正、ホームルームのあり方、上履下履の区別の問題ほか数綱目。おのおの担当委員小委員を定め、体当りでそれらの問題解決へと向かっている。

さらに注目すべき仕事として新しく入る中一のための各クラブ活動状況紹介の資料作成がある。現在仕上げの段階で、北川会長（三A）は遅くとも春休み中には完成させるつもりという。各部の特色ある姿を知ってもらおうというのがその目的。毎日遅くまで懇談室で原紙をきる作業が続いている。

彼らの日常の仕事場はこの懇談室に三A教室、委員会室の三ケ所。以前は委員会室で高校執行部と同居していたが、同居ではやはり中学独自の思い切った活動ができないため、最近は飛び出したままとか。そして今、北川安藤（次期会長）の両君は口をそろえて「部室がほしい！」という。ファイト満々、そんな感じの彼らにスポットを当ててみた。

次期執行部の面々上、がっちり握手をかわす北川会長（左）と安藤新会長下、勢揃いした現執行部と

深いことをしよう。」という建設的な気運が盛りあがってきていることは注目される。また現状肯定派とともに真二つに割れていた意見も調整がつき始め、将来の見通しは明るい。

これら一連の動きに対し生徒会顔問の松浦先生は「たしかにやる気充分だね。中、高併設という本校の特性からみて中学執行部であればだけやれば最高だろう。ただひとつ美化にしても、上履の問題にしても決めるだけでなくもっと事後処理という点まで気をつけてほしい。」と言っている。

とにかく彼等の活動には重苦しさがない。気心の知れた愉快な仲間達が気軽にやっているといった感じである。そんなところが一般生徒の間に「執行部だけがおもしろ半分に飛び回っているだけだ。」との声を生むのかもしれない。

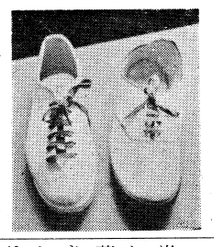
「個人的な結びつきが深まったのは多分に執行部の日誌におうところが大きい。」と北川君は言う。日誌のメンバーは北川君、長野君、辻さん、松本さん、近森君安藤君の六人で「執行部の仕事のことからそれて、みんな言いたい放題、勝手なことばかり書いている。」というその日誌の中は友情論、人生論でいっぱい。今後もずっと同じグループで日誌は続けていくとのこと。

来学期からは新しく安藤執行部がスタートするが、現執行部との結びつきは堅く、春休みには尚執行部が集まって懸案のホームルーム、生徒議会開発化、規約改正等について研究しあうことになっている。

立ち直った中学執行部の今後が期待される。

新しい靴に
来学期より上履統一

新学期から、学校指定の上履が使っている上履が使えなくなるまでは、その靴に指定の緑のヒモを通したものの使用が認められる。新しい上履はトーヨーの運動靴に緑色のヒモを通したもの。



現在使用中の上履（右）と来学期より新しくなる上履（左）

上履を統一する理由は、上履担当の片岡（満）先生の話によると、「今のままではバラバラで見苦しい。上履、下履の区別をはっきりさせたい。」ためだとのこと。また従来の指定の上履が余りにも品質、デザイン、値段の点などで評判が悪かったので新しく変えたという。値段は市価より安く三百二十～五十円位で売るそうである。（規約について現執行部は執行部に必ず女子を含む規定㈡中央委員制を廃して全員依頼の執行委員制にする㈢三学期の高校生徒会役員選挙に中三を参加させるのように改正したい意向を持っている。）

受験生に聞く
本校への浅い予備知識
――合格発表で――

二月二十五日午後六時より本校玄関で、二十三、二十四日に行なわれた中二、三の編入試験及び高校入学試験の発表が行なわれた。今年の競争率は二・一倍と、昨年のそれ三・五倍と比べ、受験生には〝広き門〟であったようだ。

四時十分頃から、受験生や父兄の方がポツポツ姿をみせ始め、発表前には校門から玄関にかけて人の波で埋まっていた。〝発表〟との声が掛かると受験生や父兄がドッと玄関に押し寄せ、合格発表ならではという、なんともいえないざわめきの中で、張り出された紙を、〝自分の名は〟〝息子の名前は〟と次々と張り出される紙を喰いるように追い求めていた。その中で「ない！ないやいか！」という黄色い声が、響いていた。でも、結果をみている受験生の表情は一般に明るかった。

――土佐校に関してどのような予備知識を持っていましたか。

この質問には、たいていの受験生が、学力が県下一番で、国立大学への進学数が多いとか、野球の強い学校だというくらいの知識しかなく、校風などについての知識を持っていたのは、先輩からのびのびとした自由な気風の漂う学校だと聞いていたというF中学の女子受験生四人や、兄さん、姉さんが本校に在学しているという二、三の受験生のみであった。

――土佐校生をどう思いますか。

ある父兄の方は「生徒さんが非常におちついていて、私達がみてもうらやましい程、すばらしくみえます。」と仲々好評であった。受験生にも同様な意見が多かったが、ある受験生は「イカンがもおる。高一でパチンコへ行きよったり…。」とそこにいあわせた本校の一生徒を指さしての意見には、少なからず驚ろかされた。J中学の男子受験生は、本校女子生徒は「たいへん礼儀正しく、感じがよい。」とのこと。

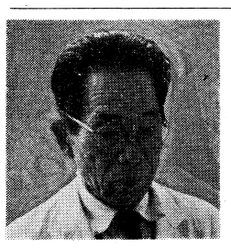
――学校にはどのような事を希望しますか。

これは大部分、父兄の方の意見だが、大学進学を目標に土佐へ入った（入らした）のだから、進学の方へ今以上に力を入れてほしいが、かといって進学一辺倒でも困るから、運動の方の指導もよろしくやって下さいとのこと。

発表／真剣な目、目、目……

今後は貝の恋愛も……
中山先生出版文化賞受賞

去る一月三十一日、本校生物担当の、オンカンこと中山嗣馬先生が、四十年度高知県出版文化賞を受賞された。



これは、中山先生の三十年来の努力の結晶、「土佐産貝類総目録」の出版の業績が認められたもの。当日受賞式場では、天皇陛下からの励ましのお手紙披露の一幕もあるなど、先生の偉業は各方面から賞賛の声を集めていた。今まで高知県には、このような専門的な貝の研究書を著わした人はいなかっただけに、先生の苦労も多かったという。学者によって分類の方法がちがうので、それをうまくまとめるため、四度も原稿を書き直したとのこと。その間ご病気になられた時には、少しでも早く完成させようと、机を病院に持ち込み、机とベッドとの間を往復しながら書かれたそうである。今、専門誌「VENUS」などに広告中で、全国から注文が来始めている。

中山先生談

この本が完成するまでには、いろいろ苦労が多かっただけにうれしさもひとしおだ。今後は、こんな専門的なむつかしい本ではなく、貝の恋愛や結婚など、一般の人にも楽しんで読んでもらえるようなユーモアにあふれた本を書くつもりだ。

❖高知県出版文化賞とは、県文教協会が毎年科学の向上に役だった本の著者に贈っているもので今回の受賞者は六十名だった。

外野席
開校精神復活を
夢と希望を呼びもどそう

「筆山の麓　鏡川の畔校舎　鬱々として呻吟の声雲に響く　是れ土佐中学校に非ずや　人材という言葉の意味、あるいは人材の養成とはどんな事を指すのかとなるとまた大きな問題でしょうが、現在の本校においてはたしてそのような〝人材よ出でよ〟式の教育が行なわれているでしょうか。あるいは〝人材〟を目指している生徒が何人いるでしょうか。編入生のSY君（高一）は半ば自嘲的にこう言いました。「ヘェー土佐校にそんな立派な教育方針があったのかい？それにしちゃあ矛盾した教育してるなあ…」そしてT君はこう言います。「俺は自分に自信がない。だから生活を安定させるために自分を安心させるために大学へ行くんだ。」何かが忘れられている。そう思いませんか。土佐校というのは我々が何のために大学へ行くのか、大学へ行けばどんな事ができるのか、社会へ出たらどんな人間になるべきかをよく考えさせ、教えてくれるところではないのでしょうか。たとえば美化の日にしても今では今〝事務的な行事になってしまっています。自分達の学校を美しくと思ってそうじをしている人は今ではほとんどいないのではないでしょうか。土、佐校をすばらしい学園にと思っている人が少なすぎます。義務感欠如、前向きのファイト喪失…すべてが行き詰っています。もっと夢を！理想を！

（N・U）

パチンコは
お好き？

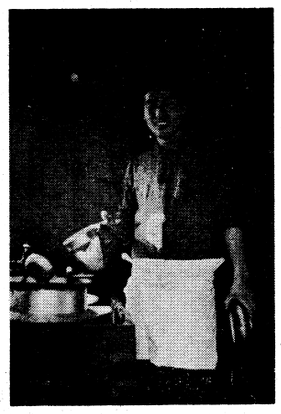
土佐校生のモラルも地に落ちたというお話。ある夜のX君（中三）例によってパチンコ修行に出かけ、台の前に陣どってチンジャラジャラよろしくやり始めた。ところがこれを見かけた某君が本校のN先生にご注進に及び、X君は窮地に陥った。さてN先生の登場…X君の後方から肩をたたいて「おい、はいりゆうか？」「はいらん。」それでもお肩に手をおきつづける先生に、X君むっとして「重い！」と後を振り返ったからたまらない。「お、先生。」と叫んで一目散に逃げ帰ったという。

K先生ハッスル！

自転車の空気抜き専門の先生といえば体育の北村先生だが、ある日この北村先生が規則違反（置場所など）の自転車の空気を抜いていると、通りかかったY君が憤慨して先生に抗議した。「生徒にばかり注意するが、先生達の自転車だってバラバラの置き方じゃないですか。」ビックリした先生が先生専用の置場に行って見てみるとなるほど二、三歩な置き方をしたのが混じっている。頭にきた北村先生、張本人のK先生等を呼んで一人一人に訓戒した。これに発奮したK先生は今や学校代表で先頭に立って自転車問題に取り組んでいるというから楽しいではないか。

30回生溝淵章人さん（太助主人）

うどんは僕の命です
後輩に食べらすのがうれしい



今日もうどん作りに精出す溝淵さん

「よく大学出てウドン屋やるのかなんて言われるけど、そんなこと問題じゃないですよ。僕としては、好きなことやっていられるのが生きがいです。それに、なまじかサラリーマンになって、一生ペコペコするよりも小さくてもオヤジになった方が、僕にはよかったんです。」――小柄だが、目が鋭い、そして全体に兄貴の様なやさしさをたたえている人――土佐校正門前にある御存知〝太助〟の主人溝淵章人氏である。今回は本校の第三十回生であるこの溝淵さんにスポットを当て見た。

溝淵さんは三十五年に、中央大学を卒業された後、日本能率協会に入り市場調査をやっておられたが退社後、朝鮮料理を勉強され、高知に帰ってからは帯屋町に明月館を経営されていた。――ウドン屋に変られたのは――「実は、一心がやめたのを知り学生が気楽に行ける所が、一つはあっていいと思いましてネエ……酒飲み客相手の商売より、学生の方が気持ちがいいしそれに、後輩に食べらすのが何よりもうれしくてネ。」そこで一心ヘウドンの作り方を習いに行ったが、その時一心のおじさんに「ウドンを作るだけなら作り方を教えれば、誰でも大体のことはできる。三百六十五日、八十五点以上でやって行けてこそ完璧だ。そうなると結局人間の問題だから初心にかえってやれ。」と注意されそれから、全てを最初から習うつもりで頑張ったそうだ。ウドンを作る苦労をお聞きして見ると「ウドンはむつかしいですよ。スープ一本の勝負ですからネ。他の物はダメでもカバーできませんから、ゴマカシがききませんよ。」ほんの少し火がきつ過ぎてもスープはたちまち、真赤になってしまう。スープのアクを取る手つきが少し違っても大変なことになるらしい。又、同じ調味料を同じ分量入れたとしても、味がその時によって違うことがあるという。

――微妙なものですネ――

――ええビミョウです――

「これが完服できればしめたものですがネ、しかし作っているうちに『あやっては』等と迷いがでて来るようではまだダメです。一心のおじさんなんかが作っている時はそれこそ無心になってますよ。もう生活そのものがウドンになりきっています。その点僕なんかはまだまだ色気もあるし、まだウドンの本当の〝枯れた味〟というものが出せません。しかしそのうちきっとウドンだけは、ものにして見せますよ。」日頃何の気なしに食べている、太助のウドンには溝淵さんのこんな苦労があるのかと、記者一同唖然：「ウドンは僕の命です。」ともいう溝淵さん、その溝淵さんも、大学時代は野球部でエースとして活躍されたとか。高三になってからは気の合った仲間で剣道部を作り、お互の友情を深められそうだ。「何といっても高校の部活動は大事ですよ、人間形成に役に立つというより実生活に役に立ちますからネエ。君たちも最初から『俺は燃えていたという。溝淵さんも園芸部でエダゴをかついで活躍されたとか。高三になってからは気の合った仲間で剣道部を作り、お互の友情を深められそうだ。「何といっても高校の部活動は大事ですよ、人間形成に役に立つというより実生活に役に立ちますからネエ。君たちも最初から『俺は

（H・K）

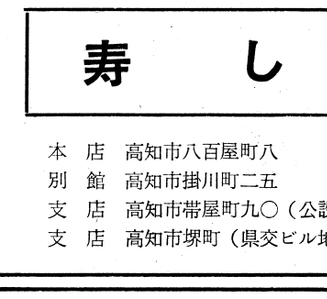
もう一度やりたい
意気盛んな演劇同好会

スポット・ライトに浮ぶ「つう」と「よひょう」。客席からは盛んな拍手がわく。

二月六・七日に開かれた文化部発表会。その芸能発表会のメーンエベント、演劇同好会による「夕鶴」の物語である。

三年振りの演劇同好会出場で大いに注目されていたが、期待にたがわぬ名演技。特に、純心で愛らしい「つう」と、少々頭は弱いが、つうに深い愛情を注ぐ「よひょう」の両主人公に人気が集まっていた。また、脇役の「惣ど」「うんづ」そして子供達も仲々の熱演で、生徒からは「今度の文化祭の自慢だった。」と、賛辞を浴びていた。

演出は、堀見淳二君（二〇）「まずまずの出来でした。僕としては満足です。」と、スタッフと握手。〝本人の性格とピッタリだ〟とまで言われるほどの名演（？）をした「よひょう」役の根須信一君（二〇）は実際の僕とは正反対の役だけど、楽しかった。できたらもう一度やりたいですね。」と楽しそうに語る。「つう」役の大町ふみさんで「重い！」と後を振り返ったからたまらない。「お、先生。」と叫んで一目散に逃げ帰ったという。



熱演の一コマ

本当に涙が出そうになったけど…。感激でした。もう一度やりたいですね。」と出演者の面々、「もう一度やりたい。」を連発し、ファイトのほどを示す。

彼らが準備を始めたのは冬休みの前から。原作を選んでシナリオを書いて……。そして練習を始め、文化祭の二週間ほど前からは本格的な練習にはいった。毎日六時過ぎまで残って練習を積み、当日を迎えた。ところが本番直前、いろりの上の小道具がこわれてあわてふためいた…。という一幕もあったという出演者の面々。後継者も見つかり、未来に向かって意気盛んな演劇同好会だった。

（S）

レコードの店
エリート へどうぞ！
中の橋電停
南入二軒目　電③―１０８２ イロハニ

新学期の参考書は
ゆっくり選べる
明文堂を
本店　ニュー高知ビル西端
TEL ②６３９５③６９５６
支店　大丸デパート西口前

音楽愛好家の皆様の店
クラシカルレコード専門店
楽聖
三条通電停北三軒目　TEL ③―１００９

古本誠実買入
井上書店
定休日　1.2.3.4の月曜日
高知市帯屋町中の橋通り
TEL ③ ３９３１

博覧会においでの節は
第一会場　（高新放送会館地下名店街）
第四会場　（補助グランド東南角）
ぜひお立寄りの程を―
寿し柳
本　店　高知市八百屋町八　電話 ⑤０１０１
別　館　高知市掛川町二五　②８４４８
支　店　高知市帯屋町九〇（公設市場内）②５３７３
支　店　高知市堺町（県交ビル地下食堂）②１２２１

サンゴはぜいたく品ではありません
りっぱな工芸品です
土佐の名産サンゴにカツオと
全国に知られています
土佐名産サンゴと
装身具は
池田珊瑚店
高知市帯屋町一丁目
TEL ②０３５８

信用あるお店で安心したお買物を
通学用かばん
旅行用かばん
マエダ
かばん店
高知市帯屋町18　電話 ②８６００・８６０１

新築落成に、ご婚礼用、ご出産用に祝餅、赤飯、饅頭
老舗
中納言
本　店　大橋通り　②0573 ③2490
潮江店　天神町　②2979

イリキ眼鏡店
高知ハリマヤ町 電②0998番